

## 古文書を未来へ

### 最先端の技術と信頼

(細川幽齋)は戦国時代 随一の識見、教養を有し、随一の識見、教養を有し、古今に伝わる文化や格式にも精通していた器量人。関ヶ原合戦の際、寡兵を指揮して田辺城に籠城し西軍の攻撃を受けた。古今伝授の秘伝が絶えることを恐れた朝廷は、しばしば使いを

発して知識を勧めたがこれを拒み、古今伝授の書類に歌を添えて京へ送った。これが後陽成天皇の耳に入り、幽齋は文武両道の第一人者として勅使から称えられた。

株式会社(代表取締役社長・森松義喬氏)は、各省庁や博物館、大学等が保有する古典書類、歴史的文献や貴重資料を中心としたデータベースに特化。外務省外交史料館、東京大学史料編纂所、防衛省戦史室など7機関に撮影スタジオを設置して、事前の資料整理、撮影(デジタルカメラ、大判、赤外線、V字型)からマイクロフィルム作成、カラーネガ・ポジ作成、電子化サービスのほか、資料状態調査、複製、保存用品販売、公開・閲覧(ビューワー、タッチパネル等)関連まで、幅広いサービスを提供しているワンストップで提供している器量人企業だ。日本で初めて各種フィルムのデジタル変換作業をオートメーション化したことでも高い評価を得ており、小さくともキラリと光る古文書の伝統、文化を後世に伝える役割は大きい。1963年の設立以来、官公庁相手に築いた信用と技術は揺るぎなく、けだし細川幽齋の如き存在だ。未来へつなぐ、日本の歴史と文化の守り役であり、成長の証明役でもある。